



ユーザーズマニュアル

MEGASOFT®

目次

第1章	はじめに	1
1-1	システム概要	1
1-2	動作環境と対応するデータについて	2
1	動作環境	2
2	対応するデータ	3
1-3	システムのセットアップ	4
第2章	接続方法	11
2-1	接続設定について	11
2-2	接続設定の手順について	12
1	有線・無線LAN接続	12
2	USBリンクケーブル接続	13
3	IEEE1394 (iLink)ケーブル接続	14
4	LANクロスケーブル接続	15
5	RS-232Cリバースケーブル接続	15
6	インターネット経由で接続する場合	16
2-3	IPアドレスの手動設定	18
1	Windows98 / Me の場合	19
2	Windows2000 の場合	19
3	Windows XP の場合	20
	接続設定の確認方法	21
1	Windows98 / Me の場合	21
2	Windows2000 / XP の場合	23
第3章	はじめてお使いいただくときの操作	25
3-1	システムの起動	25
3-2	設定ウィザード	26
3-3	システムの終了	33
第4章	基本操作	35
4-1	ACCUSYNCメインウィンドウの各部名称	35
4-2	同期項目を追加する	36
1	同期項目の追加ウィザードを表示する	36
2	マイドキュメントフォルダを追加する	37
3	任意のフォルダを追加する	39
4	Outlook「メール」を追加する	41

目次

5	Microsoft Outlook のアドレス帳 / 仕事 / メモを追加する	44
6	Cookie / お気に入りを追加する	45
4-3	同期項目を削除する	47
4-4	同期の設定	48
1	削除の設定	48
2	同期の方向	49
4-5	チェックする	51
1	チェックする	51
2	チェック結果アイテムごとの設定変更	52
4-6	同期の実行	54
1	同期を実行する	54
2	同期を途中で中止する	54
4-7	同期したアイテムを復元する	55
第 5 章	システムの設定 (「オプション」機能)	57
5-1	「オプション」ウィンドウの表示	57
5-2	[接続方法] タブ	58
1	シリアル接続の追加	59
2	TCP / IP 接続 (アドレス指定) の追加	61
	グローバル IP アドレスの確認方法	64
5-3	[全般] タブ	66
1	全般	66
2	コンパクトモード	68
3	ログとログファイル	69
5-4	[同期の方式] タブ	70
5-5	[同期スケジュール] タブ	71
1	自動同期	71
2	定期的な同期スケジュール	72
5-6	[フィルタ] タブ	74
5-7	コンパクトモード	77
5-8	オンラインアップデート	78
1	オンラインアップデートの設定	78
2	オンラインアップデートの操作	80
付録		83
索引		83

第1章

はじめに

ACCUSYNC (アキュシンク) をご利用いただく前の確認事項や、セットアップの手順を説明します。

1-1 システム概要

ACCUSYNCは2台のコンピュータ間で指定したデータを比較して、一方のデータが更新されると、もう一方のデータにコピーして同じデータ環境にします。ACCUSYNCは「同期」をより便利に安全に行うことができます。

デスクトップ PC で作成した書類の作業を他のコンピュータで続けたいが、いちいちファイルを移すのが面倒なとき、会社のコンピュータで受信したメールを外出先に持参したノートパソコンで見たいときなど、ACCUSYNCを使うと簡単にコピーすることができます。



『このコンピュータ』と『相手のコンピュータ』 -

ACCUSYNCで使用する2台のコンピュータのうち、実際に操作を行うコンピュータを『このコンピュータ』、他方のコンピュータを『相手のコンピュータ』といいます。

1-2 動作環境と対応するデータについて

ACCUSYNCをインストールする前に必ずご確認ください。

1 動作環境

ACCUSYNCをお使いになるコンピュータ2台で、ハードディスクやメモリの容量、通信の環境などをご確認ください。

- CPU : 100MHz 以上
- 対応 OS : Windows XP/Me/98/2000
- ハードディスク : 11MB 以上の空き容量が必要
- メモリ : 64MB 以上
- 通信環境 : 接続環境イーサネット、シリアルポートなどの
コミュニケーションポートを備えていること

通信チャネル例 :

- ・有線 / 無線 LAN
- ・インターネット経由 (ADSL、CATV、FTTH、ダイヤルアップ、ISDN)
- ・ホットスポット
- ・IEEE1394 ケーブル
- ・シリアルケーブル
- ・USBリンクケーブル
- ・LANクロスケーブル

インターネット経由で通信を行う場合は、『相手のコンピュータ』のグローバル IP アドレスを、あらかじめ確認しておく必要があります。

2 対応するデータ

ACCUSYNCが対応するファイルやフォルダは次のとおりです。

- マイドキュメントフォルダ
- 任意のフォルダ
- 「お気に入り」「Cookie」
- Microsoft Outlook 「メール」「アドレス帳」「予定表」「仕事」「メモ」

Internet Explorer 5.0 / 5.5 / 6.0 に対応します。

Microsoft Outlook 2000 / 2002 に対応します。

Outlook Express には対応していません。



対応しています。



×

対応していません。

1-3 システムのセットアップ

システムのセットアップの操作を説明します。

この操作はACCUSYNCをお使いになる両方のコンピュータで行う必要があります。

注意

(パッケージ版)と(ダウンロード版)では一部の操作が異なります。
お間違いのないようにセットアップを行ってください。

- 1 (パッケージ版)はパッケージのACCUSYNC CDをコンピュータにセットすると、自動的にセットアップ画面が表示されます。もし画面が表示されない場合は、CDのアイコンを開き、ACCUSYNCのセットアップアイコンをダブルクリックします。

(ダウンロード版)はダウンロードが完了したファイル(例: as100.exe)をダブルクリックします。

(パッケージ版)(ダウンロード版)ともACCUSYNCのセットアップ画面が起動し、「ACCUSYNC Setup」ウインドウが表示されます。

- 2 ウインドウの内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。
「使用許諾契約」が表示されます。



- 3** 「使用許諾契約」の内容を必ずお読みください。
 読み終わったら、[はい]ボタンをクリックします。
 (パッケージ版)は「ユーザ情報」ウインドウが表示されます。
 (ダウンロード版)は「インストール先の選択」(操作**5**)が表示されます。



- 4** この操作は《パッケージ版》のみの操作です。

ユーザー名、会社名と、パッケージのユーザー登録はがきにあるシリアル番号を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

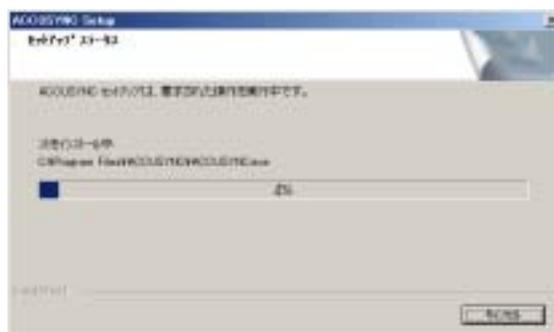


- 5 「インストール先のフォルダ」を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。インストール先を変更したいときは[参照]ボタンをクリックして、表示される「フォルダの選択」ウインドウで変更してください。

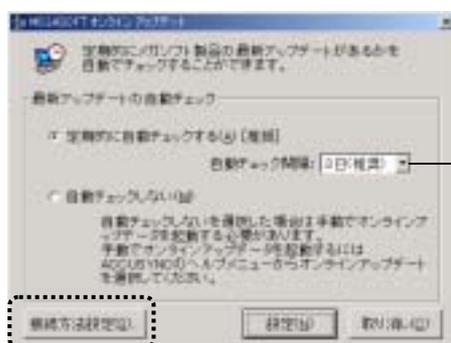


確認して必要があれば変更します。

- 6 セットアップの進捗状況が表示され、セットアップが完了すると[MEGASOFTオンラインアップデート]ウインドウが表示されます。

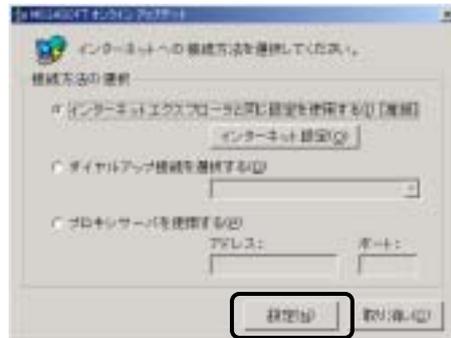


- 7 オンラインアップデートの設定を行います。「定期的に自動チェックする」を選択して、自動チェックの間隔をリストから選択し、「接続方法設定」ボタンをクリックします。

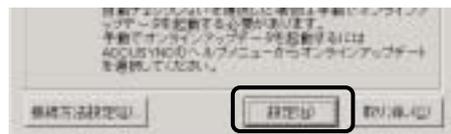


自動チェック間隔をリストから選択する。

オンラインアップデートのためのインターネットの接続方法を設定します。
いずれかを選択して、[設定]ボタンをクリックします。



元の画面に戻り、[設定]ボタンをクリックします。



Memo

オンラインアップデートを自動的に行いたくないときは、「自動チェックしない」を選択してください。

オンラインアップデートの設定は、メニューの[ヘルプ] [オンラインアップデートの設定]の順に選択しても行うことができます。

オンラインアップデートの設定と操作については、「5-8 オンラインアップデート (P78)」をご参照ください。

- 8 《パッケージ版》のみの操作です。
「ユーザー登録」画面でユーザー登録する場合は[登録(SSL)]ボタンをクリックして、オンラインでユーザー登録を行ってください。

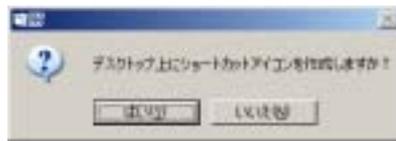
Memo

後からユーザー登録をすることもできます。(メニューの[ヘルプ] [ユーザー登録/変更ページ]の順に選択すると、オンライン登録できます。)

後でユーザー登録する場合は、[次へ]ボタンをクリックしてください。



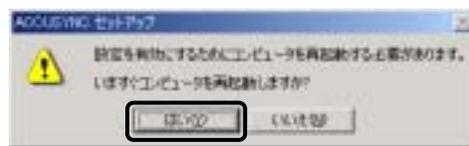
- 9 次のようなメッセージが表示されます。
デスクトップにショートカットアイコンを作成したいときは、[はい]ボタンをクリックします。



10 インストールが完了すると、[完了]ボタンをクリックします。



11 セットアップ完了後、次のようなメッセージが表示される場合があります。その場合は、[はい]ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。



以上でセットアップが完了です。

12 もう一台のコンピュータでも同じようにセットアップを行ってください。

.....
Memo アンインストール

何らかの理由でACCUSYNCをコンピュータから削除したい(アンインストールしたい)ときは、スタートメニューの[プログラム] [ACCUSYNC] [プログラムのアンインストール]の順に選択し、表示された確認メッセージの[OK]ボタンをクリックします。



第1章 はじめに

Memo:



接続方法

ACCUSYNCをお使いになる前に、各種ケーブルや接続方法ごとに2台のコンピュータを接続する設定が必要な場合があります。

本章では2台のコンピュータの接続の操作をご説明します。

2-1 接続設定について

ACCUSYNCの接続方法にはいくつかの方法があり、ACCUSYNCをお使いになる前に本章をご参照の上、正しく設定されている状態を確認してください。

本章でご説明するコンピュータ接続の設定や確認の機能はACCUSYNCの機能ではありません。

詳細な操作の方法は接続に使用するケーブルや各種カード、コンピュータ本体やWindowsの操作説明書等をご参照ください。

2-2 接続設定の手順について

ここでは次の6つの接続方法について、接続手順を説明します。
必要な部分のみ参照してください。

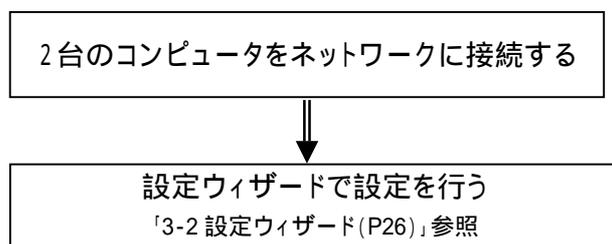
1. 有線・無線LAN接続
2. USBリンクケーブル接続
3. IEEE1394 (iLink) ケーブル接続
4. LANクロスケーブル接続
5. RS - 232Cリバースケーブル接続
6. インターネット接続

注意

各種カード・ケーブルの取り付け、ドライバのインストールについては、各種カード・ケーブルの説明書をご参照ください。

1 有線・無線LAN接続

有線LANケーブルまたは無線LANで接続しているローカルネットワーク上の2台のコンピュータ間で、ACCUSYNCを使用するための接続手順は次のとおりです。

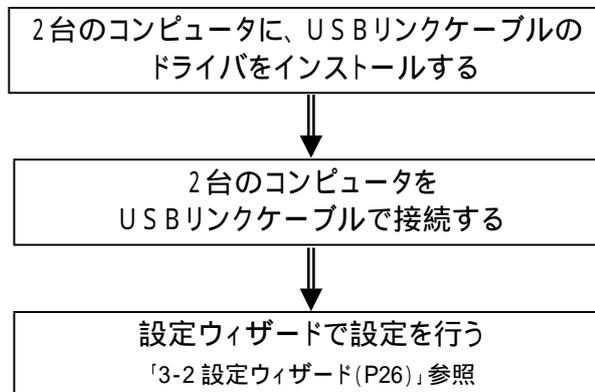


2 USBリンクケーブル接続

USBリンクケーブルで接続した2台のコンピュータ間で、ACCUSYNCを使用するための接続手順は次のとおりです。

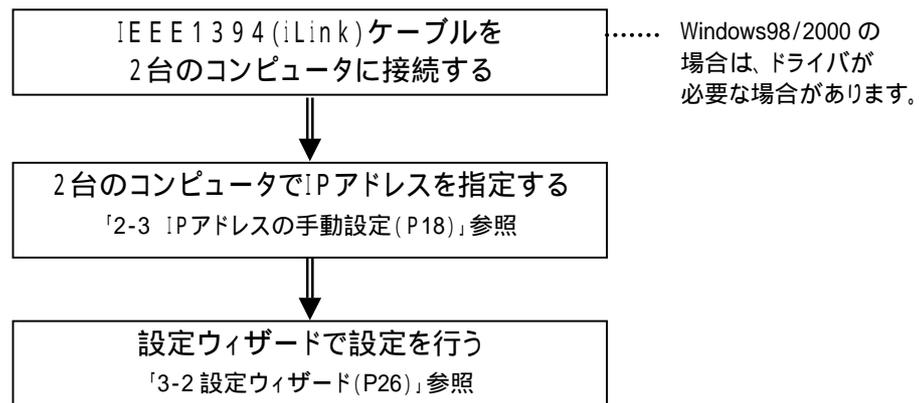
.....
注意

各種周辺機器と接続させる通常のUSBケーブルでは、ご利用いただけません。
.....



3 IEEE1394 (iLink) ケーブル接続

IEEE1394 (iLink) ケーブルで接続した2台のコンピュータ間で、ACCUSYNCを使用するための接続手順は次のとおりです。



.....

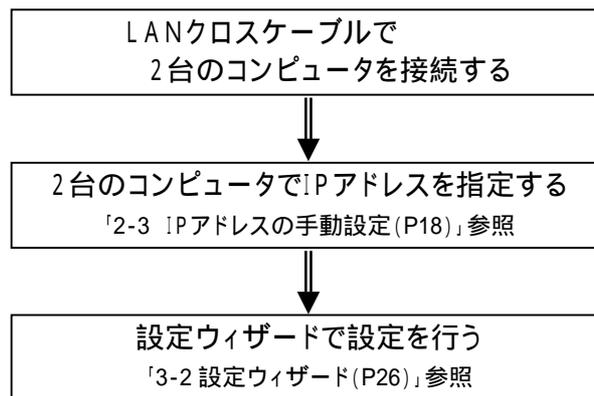
注意

Windows98はSecond Edition以外はIEEE1394ケーブル接続をサポートしていないため、ご利用いただけません。

.....

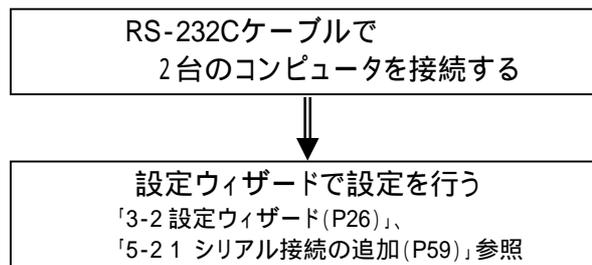
4 LANクロスケーブル接続

LANクロスケーブルで接続した2台のコンピュータ間で、ACUSYNCを使用するための接続手順は次のとおりです。



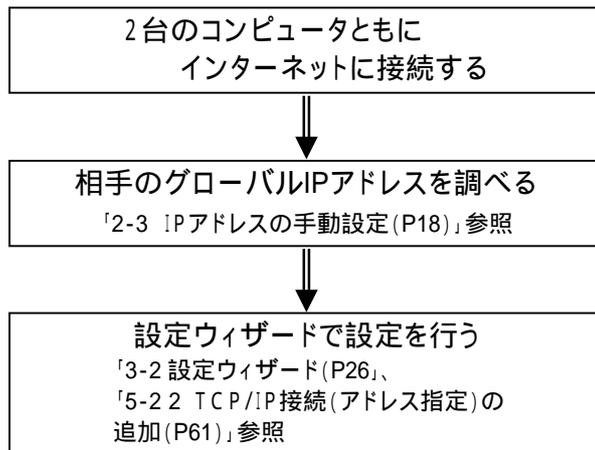
5 RS-232Cリバーケーブル接続

RS-232Cケーブルで接続した2台のコンピュータ間で、ACUSYNCを使用するための接続手順は次のとおりです。



6 インターネット経由で接続する場合

インターネットを経由して2台のコンピュータ間で、ACUSYNCを使用するための接続手順は次のとおりです。



インターネットへの接続の設定方法については、ご契約のプロバイダーなどにお問い合わせください。

.....
注意 ルータ経由のインターネット接続時の設定について
ACCUSYNCをご利用になるコンピュータがルータを経由してインターネットに
接続している場合は別途設定が必要です。

『相手のコンピュータ』がルータを経由している場合
ルータを経由してインターネット接続をしているコンピュータに、インターネット経由
で接続するためには、ルータに外部からのアクセスを許可する設定を行う必要が
あります。

『このコンピュータ』がルータを経由している場合
ルータに外部へのアクセスを許可する設定を行う必要があります。
(ルータ側で特定のポートのみ外部へのアクセス許可をしている場合があります
ので、詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。)

なお、利用するポートとプロトコルは次のとおりです。

ポート : 22850
(ACCUSYNCの「オプション」 - 「接続方法」タブの「高度な設定」で
変更できます。)

プロトコル: TCP
.....

2-3 IPアドレスの手動設定

IPアドレスを手動で設定する操作を説明します。

注意

この設定は、次の接続方法のときにのみ必要な操作です。

その他の方法で接続するときには必要ありません。

- ・IEEE1394 (iLink) ケーブル接続
- ・LANクロスケーブル接続

IPアドレスの手動設定の方法は、お使いになるWindowsのバージョンにより異なります。お使いのマシンでWindowsのバージョンをご確認の上、該当する部分を参照して確認をしてください。

「IPアドレス」「サブネットマスク」の設定について

特に他のマシンとIPアドレスが重複しない場合は、以下の例の通り設定することをおすすめします。

(ACCUSYNCでは「IPアドレス」は「192.168.0.1～192.168.0.254」の範囲で、「サブネットマスク」は「255.255.255.0」で割り当てることを推奨します。)

例)	IP アドレス	サブネットマスク
このコンピュータ	192.168.0.2	255.255.255.0
相手のコンピュータ	192.168.0.3	255.255.255.0

1 Windows98 / Meの場合

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択してコントロールパネルを開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして開きます。
- 2** [ネットワーク接続]タブの[現在のネットワークコンポーネント]の中から、[TCP / IP]または「TCP / IP -> <各種接続カード・デバイスの名前>」という項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。
- 3** 「IPアドレス」タブをクリックして画面を切り替えて、「IPアドレスを指定」の項目をクリックし、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力します。
- 4** [OK]ボタンをクリックして終了してください。
(再起動が必要な場合は再起動をしてください。)

2 Windows2000の場合

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択して、「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックして開きます。
- 2** 「<お使いの接続方法(例.ローカル接続)>」を右クリックして、メニューから「プロパティ」を選択します。
- 3** 一覧の中から、「インターネットプロトコル(TCP / IP)」という項目を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4** 「次のIPアドレスを使う」を選択して、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力します。
- 5** [OK]ボタンをクリックして終了します。
(再起動が必要な場合は再起動をしてください。)

3 Windows XPの場合

- 1** [スタート]→[コントロールパネル]を開き、「ネットワークとインターネット接続」アイコン(クラシック表示の場合は「ネットワーク接続」)を選択し、「コントロールパネルを選んで実行します。」の「ネットワーク接続」を選択します。
- 2** [ネットワーク接続]タブの「<お使いの接続方法(ローカル接続)>」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 3** 一覧の中から、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」という項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。
- 4** 「次のIPアドレスを使う」の項目をクリックして、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力します。
- 5** [OK]ボタンをクリックして終了します。
(再起動が必要な場合は再起動をしてください。)

接続設定の確認方法

2台のコンピュータが正しく接続できているかを確認する方法を説明します。

注意

この設定は、IPアドレスを手動で設定したときなどに、2台のコンピュータが正しく接続されているかを確認するときに必要な操作です。

確認の方法はお使いになるWindowsのバージョンにより異なります。お使いのマシンでWindowsのバージョンをご確認の上、該当する部分を参照して確認をしてください。

1 Windows98 / Meの場合

- 1 『このコンピュータ』と『相手のコンピュータ』の両方で[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]の順に選択します。
MS-DOSプロンプトウィンドウが表示されます。
- 2 『相手のコンピュータ』のキーボードで「ipconfig □ /all」と入力して「Enter」キーを押します。(□はスペースを表します。)
表示されたIPアドレス(IP Address)を確認します。
(複数の接続経路がある場合は、複数表示されます。ACCUSYNCでご利用になる接続方法のIPアドレスを確認してください。)
- 3 『このコンピュータ』のキーボードで
「ping □ 『相手のコンピュータ』のIPアドレス」
と入力して「Enter」を押します。(□はスペースを表します。)
次のように表示されたら、正しく接続できている状態です。

例) 『相手のコンピュータ』のIPアドレスが「192.168.0.2」の場合の表示例

入力します →

```
C:\>ping 192.168.0.2

Pinging 192.168.0.2 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.2: bytes=32 time<10ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.0.2:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\>
```

正しく接続されています

うまくいかなかった場合

上記のように表示されなかったときは、以下の操作で再度確認してください。

- 1 『このコンピュータ』の[スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- 2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力し[OK]を選択します。
- 3 「IP設定」ウインドウ内の「Ethernet アダプタ情報」の「PPP Adapter.」をお使いのネットワークカードの名前に変更してください。
- 4 以下のような場合は、もう一度接続方法を確認してください。
 - IPアドレスが「0.0.0.0」である
 - 「サブネットマスク」の項目が空欄である
 - 『相手のコンピュータ』のIPアドレスと重複している

注意

ACCUSYNCがご利用可能な場合でも、ウイルス対策ソフトに付属のファイアウォール機能により、うまくいかない場合がありますので、ACCUSYNCを起動して、「3-2 設定ウィザード(P26)」をお試ください。

また、弊社ホームページから、「接続チェックウィザード」で接続チェックを行うことができます。

<http://www.megasoft.co.jp/support/accusync/index.html>

2 Windows2000 / XPの場合

1 『このコンピュータ』と『相手のコンピュータ』の両方で[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順に選択します。

2 『相手のコンピュータ』のキーボードで「ipconfig /all」と入力して、「Enter」キーを押します。(はスペースを表します。)
表示されたIPアドレス(IP Address)を確認します。
(複数の接続経路がある場合は、複数表示されます。ACCUSYNCでご利用になる接続方法のIPアドレスを確認してください。)

3 『このコンピュータ』のキーボードで「ping 『相手のコンピュータ』のIPアドレス」
と入力して「Enter」を押します。(はスペースを表します。)

次のように表示されたら正しく接続できている状態です。

例) 『相手のコンピュータ』のIPアドレスが「192.168.0.2」の場合の表示例

入力します →

```
C:\>ping 192.168.0.2
```

正しく
接続されて
います

```
Pinging 192.168.0.2 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.0.2: bytes=32 time<10ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.0.2:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms
C:\>
```

うまくいかなかった場合

以上のように表示されなかったときは、次の操作でもう一度確認してください。

1 『このコンピュータ』の[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択します。

2 キーボードで「ipconfig」と入力して「Enter」を押します。

3 以下のような場合は、もう一度接続方法を確認してください。

- 「Ethernet Adapter <お使いの接続方法(例.ローカルエリア接続)>」の「IPアドレスが「0.0.0.0」である
- 「サブネットマスク」の項目が空欄である
- 『相手のコンピュータ』の IP アドレスと重複している

注意

うまくいかなかった場合でも、正常にご利用いただける場合がございますので、ACCUSYNCを起動して、「3-2 設定ウィザード(P26)」をお試しください。
また、弊社ホームページから、「接続チェックウィザード」で接続チェックを行うことができます。

<http://www.megasoft.co.jp/support/accusync/index.html>



はじめてお使いいただくときの操作

本章では、システムの起動と、はじめてお使いいただくときの設定方法、また終了の操作を説明します。

3-1 システムの起動

ACCUSYNCはWindowsのスタートメニューから起動できます。
また、デスクトップなどにショートカットアイコンをコピーした場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



3-2 設定ウィザード

設定ウィザードではACCUSYNCを初めてご利用いただく場合、または接続先のコンピュータを変更する場合の基本的な設定を行います。

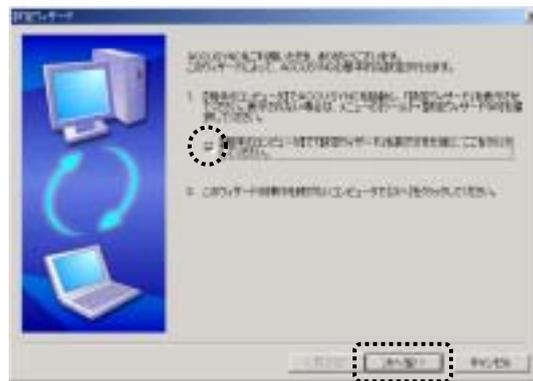
- 「第2章 接続方法(P11)」の操作を参考に、あらかじめ接続可能な状態であることをご確認の上、2台のパソコンが通信できる状態にしてから以下の操作を行ってください。
- 設定ウィザードでの設定は、双方のコンピュータを起動して行ってください。途中、『相手のコンピュータ』画面を参照する必要がありますので、ご注意ください。
- 設定ウィザードの途中で『相手のコンピュータ』を認証します。一度認証しておく、次回からは認証を求められることなく使用することができます。(離れたコンピュータ同士の場合は、事前にLAN接続やケーブル接続で認証しておくことをお勧めします。)

- 1 『このコンピュータ』でACCUSYNCを起動します。
『このコンピュータ』で「設定ウィザード」ウインドウが表示されます。
- 2 『相手のコンピュータ』でもACCUSYNCを起動します。
『相手のコンピュータ』で「設定ウィザード」ウインドウが表示されます。
「設定ウィザード」が表示されないときは、メニューの[ツール] [設定ウィザード]の順に選択して、「設定ウィザード」ウインドウを起動してください。

- 3** 必ず『相手のコンピュータ』で「設定ウィザード」ウィンドウが表示されていることを確認してから、『このコンピュータ』の画面でチェックをつけて、[次へ]ボタンをクリックします。

注意

チェックをつけないと[次へ]ボタンをクリックできません。



- 4** 「接続方法の選択」ウィザードが表示されます。接続方法を選択して[次へ]ボタンをクリックします。

ここではTCP/IP接続(ローカルネットワーク)を選択した場合の画面で説明します。

各接続方法の詳しい設定については「5-2 [接続方法]タブ(P58)」をご参照ください。



- 5 次のように表示が切り替わります。
確認して[次へ]ボタンをクリックします。



- 6 接続されているコンピュータがリスト表示されます。
相手のコンピュータを選択して[次へ]ボタンをクリックします。



注意

操作3でチェックをつけても、実際に『相手のコンピュータ』で「設定ウィザード」が起動していなければ『相手のコンピュータ』は表示されません。
また、『相手のコンピュータ』で「設定ウィザード」が起動しているにもかかわらず相手コンピュータが表示されない場合は、弊社ホームページの「接続チェックウィザード」で接続設定をご確認ください。

<http://www.megasoft.co.jp/support/accusync/index.html>

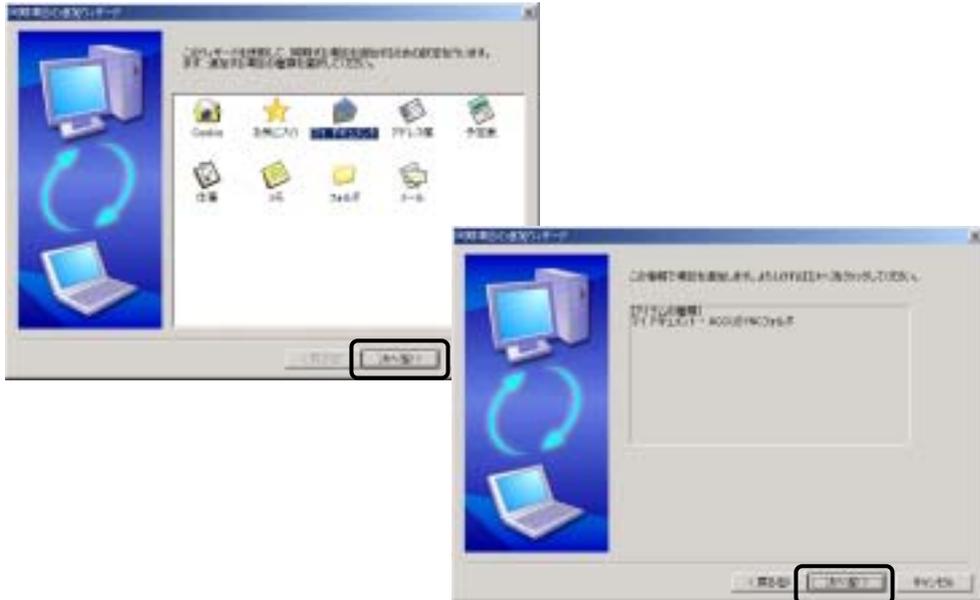
- 7** 『このコンピュータ』『相手のコンピュータ』とも表示が切り替わります。
『相手のコンピュータ』のウィンドウに表示されているパスワードを、『このコンピュータ』に入力して、[次へ]ボタンをクリックします。



- 8** 表示が切り替わります。
内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



- 9 次のように画面が切り替わります。
「同期項目の設定ウィザード」で同期項目を追加します。
詳細な操作の方法は「4-2 同期項目を追加する (P36)」をご参照ください。



続けて他の同期項目を追加したいときは[追加]にチェックをつけて[次へ]ボタンをクリックします。
同期項目の追加を終了して次の設定へ進むときは[完了]にチェックをつけて[次へ]ボタンをクリックします。



- 10** 次のように画面が切り替わります。
同期の方向を設定します。
詳細な内容については「4-4 2 同期の方向 (P49)」をご参照ください。



- 11** 次のように画面が切り替わります。
「削除」の設定をします。
詳細な内容については「4-4 1 削除の設定 (P48)」をご参照ください。



第3章 はじめてお使いいただくときの操作

12 次のように画面が切り替わります。



以上で、ACCUSYNCを使用するための設定ができました。
[完了]ボタンをクリックしてください。

3-3 システムの終了

「ACCUSYNC」ウインドウの[ファイル] [ACCUSYNCの終了]の順に選択して終了します。



注意

初期の設定では、タイトルバーの[閉じる]ボタンをクリックしても、プログラムは終了せず、タスクバーに常駐します。

メニューの[オプション] [全般]タブの[常にバックグラウンドで実行する]のチェックをはずすと、[閉じる]ボタンで終了するように設定を変更できます。

第3章 はじめてお使いいただくときの操作

Memo:

第4章

基本操作

ACCUSYNC画面での基本操作を説明します。

4-1 ACCUSYNCメインウィンドウの各部名称



同期する

一方のコンピュータで行われたデータの編集(ファイルの作成、編集、削除など)を他方のパソコンに反映することを「同期する」といいます。

「項目」と「アイテム」

「メール」や「お気に入り」、「フォルダ」など同期するデータの種類を「項目」、一通のメールや1つのファイルを「アイテム」といいます。

4-2 同期項目を追加する

Memo

同期項目には、フィルタ機能により同期の対象に条件を付加することができます。
フィルタ機能については、「5-6 [フィルタ]タブ(P74)」をご参照ください。

1 同期項目の追加ウィザードを表示する

新しい同期項目を追加するために、「同期項目の追加ウィザード」を表示します。

この操作は2台でACCUSYNCを起動し、接続した状態で行います。
「同期項目の追加ウィザード」で行う操作は一方のコンピュータで操作すると、他方のコンピュータにも反映されます。

- 1 「メインボタン」ウインドウの[項目を追加]ボタンをクリックします。
「同期項目の追加ウィザード」が起動します。



Memo

次の操作でも「同期項目の追加ウィザード」を起動することができます。

- 「次回同期するアイテム」ウインドウの[追加するにはここをクリックしてください]をクリックする。
- すでに登録されている同期項目の上で右クリックし、表示されたメニューから[項目を追加する]を選択する。
- [ツール]メニューから[項目の追加]を選択する。

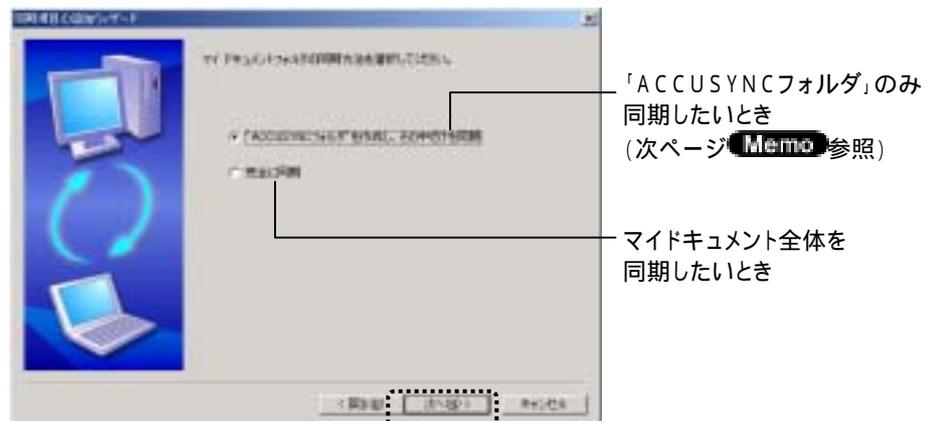
2 マイドキュメントフォルダを追加する

- 1 「同期項目の追加ウィザード」で、[マイドキュメント]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示されません。



- 2 次のような画面が表示されます。
いずれかを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



Memo

「"ACCUSYNCフォルダ"を作成し、その中だけを同期」を選択した場合は、マイドキュメントフォルダの中に「ACCUSYNCフォルダ」という名前のフォルダを作成し、そのフォルダを同期項目とします。



- 3** 次のような画面が表示されます。
内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は終了です。



3 任意のフォルダを追加する

- 1 「同期項目の追加ウィザード」で、[フォルダ]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示されません。



- 2 次のような画面が表示されます。
同期をとりたいフォルダをそれぞれ指定して、[次へ]ボタンをクリックします。
[参照]ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」ウインドウが表示されます。
フォルダ名をキー入力することもできます。
フォルダ名をキー入力するときは、ドライブ名からのフルパスを正しく入力してください。



- 3** 次のような画面が表示されます。
内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は終了です。



4 Outlook「メール」を追加する

この操作は双方の Microsoft Outlook でメールの送受信ができる環境にある場合のみ、操作できます。

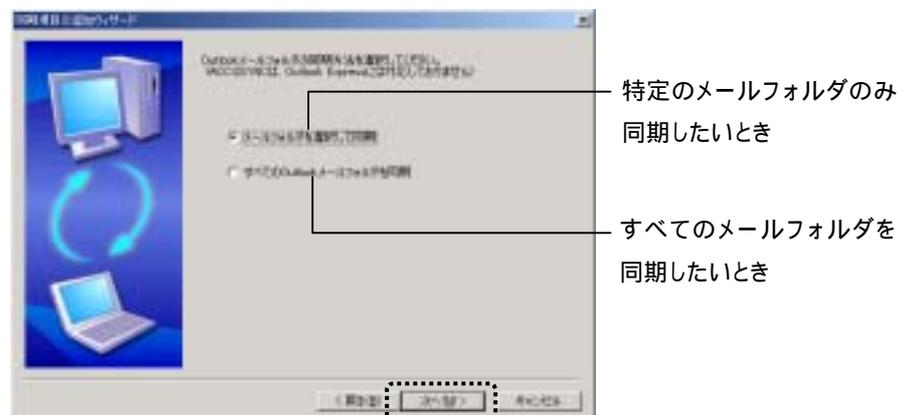
- 1 「同期項目の追加ウィザード」で、[メール]をクリックして、[次へ]ボタンをクリックします。

すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示されません。



- 2 次のような画面が表示されます。いずれかを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

[すべてのOutlookメールフォルダを同期]を選択したときは、**5**の操作へ進みます。



特定のメールフォルダのみ同期したいとき

すべてのメールフォルダを同期したいとき

- 3** 「メールフォルダを選択して同期」を選択した場合は、次のような画面が表示されます。
『このコンピュータ』で同期をとりたいメールフォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。(下図は受信トレイを選択した状態です。)



「+」マークのフォルダは下位にフォルダがあります。
クリックすると下位のフォルダが表示されます。

- 4** 「メールフォルダを選択して同期」を選択した場合のみ行う操作です。
『相手のコンピュータ』で同期をとりたいメールフォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。(下図は受信トレイを選択した状態です。)



- 5** 次のような画面が表示されます。
内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は終了です。



5 Microsoft Outlookのアドレス帳/仕事/メモを追加する

- 1 「同期項目の追加ウィザード」で、追加したい項目をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。(ここでは「アドレス帳」を追加する場合の画面で説明しています。)

すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示されません。



- 2 次のような画面が表示されます。
内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は終了です。



6 Cookie / お気に入りを追加する

- 1 「同期項目の追加ウィザード」で、追加したい項目をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
(ここでは「Cookie」を追加する場合の画面で説明しています。)

すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示されません。

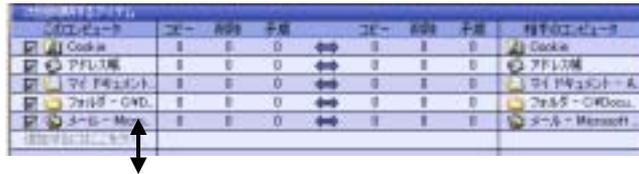


- 2 次のような画面が表示されます。(下図はCookieを選択した時の例です。) 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は終了です。



Memo

「次回同期するアイテム」ウインドウのサイズ変更
登録された同期項目は「次回同期するアイテム」ウインドウに表示されます。
「次回同期するアイテム」ウインドウの下(「ログ」ウインドウとの境界)で、マウス
ポインタの形状が両矢印の状態ドラッグすると、大きさを変更できます。



上下にドラッグします。

4-3 同期項目を削除する

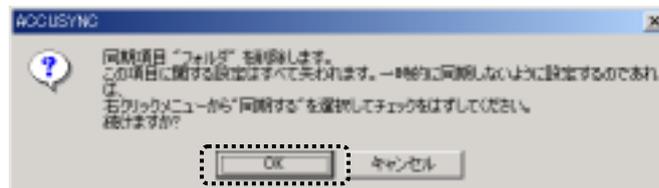
同期項目削除の操作は一方のコンピュータで行うと、他方のコンピュータにも反映されます。

この操作は2台でACCUSYNCを起動し、接続している状態で行います。

- 1 「次回同期するアイテム」ウインドウで削除したい同期項目の上で右クリックし、表示されたメニューから[この項目を削除]をクリックします。



- 2 確認メッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。
以上で、同期項目削除の操作は終了です。



Memo

同期項目から削除した項目をもう一度同期項目に追加したいときは、再度同期項目追加の操作を行ってください。

4-4 同期の設定

ここでは同期の設定として、次に行うチェックや同期の「削除」と「方向」を設定します。

1 削除の設定

一方で前同期後に削除されたアイテムがあったときの処理の仕方を設定します。

一方で前同期後に削除されたアイテムがあった場合に同期をとるには、残っている側のアイテムを削除する方法と、残っている側のアイテムを他方にコピーする方法が考えられます。

「削除しない」に設定すると、前同期後に削除されたファイルを他方からコピーします。

「削除する」に設定すると、前同期後に削除されたファイルを残っている側で削除します。

注意

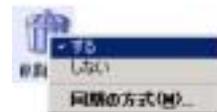
セットアップ後や同期項目を追加した直後に初めて行う同期で、「削除する」に設定している場合は、前同期したときの情報がいないため、アイテムを削除しません。詳細はP56の **Memo** 欄をご参照ください。

- 1 「接続方法と同期の設定」ウインドウで[削除の同期]ボタンをクリックします。「削除しない」/「削除する」がクリックするたびに切り替わります。



Memo

[削除の同期]ボタンを右クリックして、メニューから選択しても同様に設定できます。



2 同期の方向

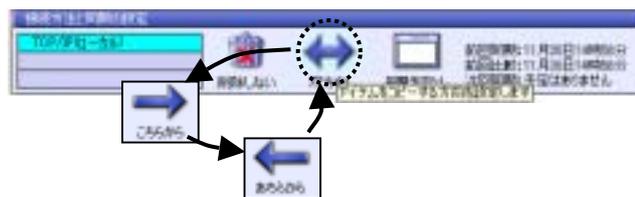
同期をとる方向には次の3つがあり、同期をとる方向を設定します。

- 双方向
お互いのコンピュータの状態に合わせて同期をとります。
双方で別々に編集されたアイテムがあった場合は、「矛盾」と判断されます。
- こちらから
『このコンピュータ』の状態に『相手のコンピュータ』をあわせるように、アイテムをコピー・削除します。
- あちらから
『相手のコンピュータ』の状態に『このコンピュータ』をあわせるように、アイテムをコピー・削除します。

注意

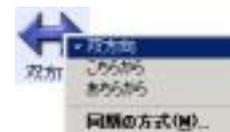
同期をとる方向を変更すると、前同期時の情報が削除されてしまいます。そのため、変更後と変更前を比べて削除されているファイルがあっても削除されません。詳細はP56の「Memo」欄をご参照ください。

- 1 「接続方法と同期の設定」ウィンドウで[同期の方向]ボタンをクリックします。
クリックするたびに「双方向」/「こちらから」/「あちらから」の順に切り替わります。



Memo

[同期の方向]ボタンを右クリックして、メニューから選択しても同様に設定できます。



第4章 基本操作

Memo

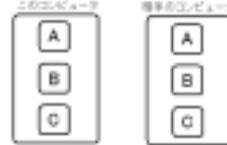
ファイルが同じ状態で同期を行っても、「削除」と「方向」の設定によってそれぞれ結果が異なってしまいます。

下図を参照して正しく理解し、誤ってファイルを削除してしまわないように注意してください。

前回の同期終了時の状態 から、それぞれのコンピュータで
今回同期直前の状態 へファイルを削除したあとのファイルの動きを図にしています。

図中→はコピーの向きを表し、×は削除を表しています。

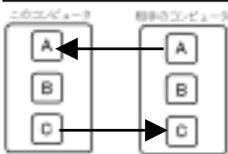
前回同期終了時の状態



今回同期直前の状態

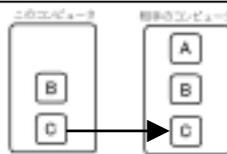


削除：しない
方向：双方向



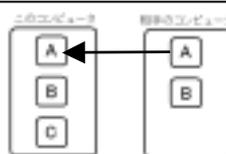
片方で削除されたアイテムをもう一方で削除せず、片方で追加・更新されたアイテムをコピーします。

削除：しない
方向：こちらから



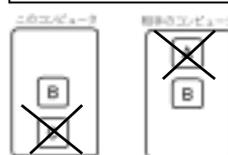
片方で削除されたアイテムをもう一方で削除せず、こちら側にあって相手にないアイテムをコピーします。

削除：しない
方向：あちらから



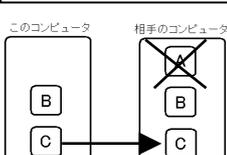
片方で削除されたアイテムをもう一方で削除せず、相手側にあってこちら側にないアイテムをコピーします。

削除：する
方向：双方向



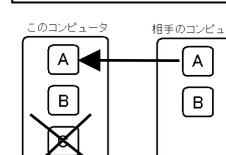
片方で削除されたアイテムをもう一方でも削除し、片方で追加・更新されたアイテムをもう一方にコピーします。

削除：する
方向：こちらから



こちら側で削除したアイテムを相手側でも削除し、こちらにあって相手にないアイテムをコピーします。

削除：する
方向：あちらから



相手側で削除したアイテムをこちら側でも削除し、相手側にあってこちら側にないアイテムをコピーします。

4-5 チェックする

設定されている同期項目について、同期の設定に従って2つのパソコン間で状況をチェックし、その結果を「接続方法と同期の設定」ウインドウに表示します。

1 チェックする

- 1 「メインボタン」ウインドウの[チェック]ボタンをクリックします。
チェック結果が「次回同期するアイテム」ウインドウに表示されます。



チェックした結果、「次回同期するアイテム」ウインドウに双方のコンピュータで同期をとる必要があるアイテムの数がそれぞれ表示されます。

このコンピュータ	コピー	削除	矛盾	相手のコンピュータ
マイドキュメント	1	0	1	マイドキュメント-A
共有するフォルダ				

コピー	同期をとるためにコピーを実行する必要があるアイテムの数
削除	同期をとるために削除する必要があるアイテムの数
矛盾	双方で編集されているため、コピー / 削除とも判断できないアイテムの数

Memo

チェックの結果、同期する必要があるアイテムが見つからなかったときはメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。



2 チェック結果アイテムごとの設定変更

チェックの結果、同期の対象になったアイテムごとに同期の設定を変更することができます。

- 1 「次回同期するアイテム」ウインドウのチェック結果(コピー、削除、矛盾)の数字をクリックします。
ウインドウが表示され、同期項目に含まれる同期対象のアイテムが一覧表示されます。(下図は「矛盾」の場合の表示例です。)
- 2 同期の設定を変更したいときは、アイテムを選択して、ウインドウの下のボタンをクリックします。
- 3 [決定]ボタンをクリックします。
設定した内容に同期の設定が変更されました。



アイテムを選択します。

変更したい内容のボタンをクリックします。

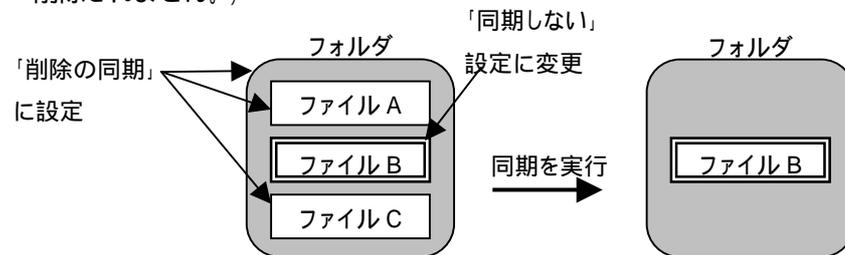
注意 フォルダの削除について

フォルダはフォルダの中にアイテム(ファイル)が存在する場合があるので、「削除の同期」に設定を変更したときは、次の点にご注意ください。

・フォルダを「削除の同期」に変更すると、その中のファイルもすべて削除されます。

・フォルダ内のファイルが1つでも「同期しない」設定に変更した場合は、フォルダが「削除の同期」に設定されていても、フォルダは削除されません。

(下図のような場合、**ファイルB**のみ「同期しない」設定に変更すると、フォルダも削除されません。)

**Memo** 一時的に同期項目からはずす / もどす

同期項目から削除せずに、一時的に同期の対象からはずし、また同期の対象に戻すことができます。

「次回同期するアイテム」ウインドウで一時的に同期の対象からはずしたい / 同期の対象に戻したい同期項目の前のチェックボックスをクリックします。

チェックがついていると、同期の対象になります。

このコンピュータ				相手のコンピュータ				
アイコン	名前	コピー	削除	同期	コピー	削除	同期	
<input checked="" type="checkbox"/>	マイドキュメント	0	0	0	↔	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダ - C:\D...	0	0	0	↔	0	0	0

チェックがついていないと、同期の対象外です。

4-6 同期の実行

同期の実行と同期の中断の操作を説明します。

それぞれメインボタンウインドウのボタンで操作します。



1 同期を実行する

- 1 「メインボタン」ウインドウの[同期]ボタンをクリックします。
同期が実行されます。

同期が終了すると、次のようなメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。



2 同期を途中で中止する

- 1 同期実行中に「メインボタン」ウインドウの[中止]ボタンをクリックします。
同期が中止され、次のようなメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。



4-7 同期したアイテムを復元する

同期を実行する前の状態に復元します。

注意

- ・復元は直前に実行された同期のみに有効です。
- ・アイテム単位で同期の復元はできません。
- ・オプションの[全般]タブで、「復元用にバックアップを作成しません」に設定しているときは、復元できません。詳細は「5-3 [全般]タブ(P66)」をご参照ください。

- 1 「メインボタン」ウィンドウの[復元]ボタンをクリックします。
「同期前の状態に復元」ウィンドウが表示されます。



- 2 「同期前の状態に復元」ウィンドウで内容を確認して、[開始]ボタンをクリックします。



- 3 次のようなメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。

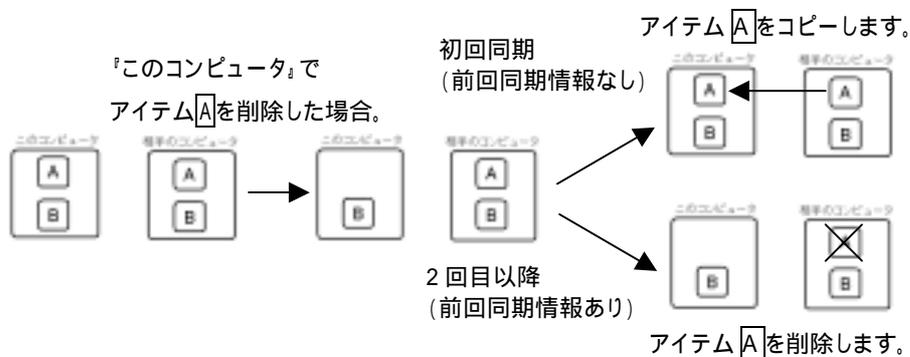


注意 初めて行う同期について

セットアップ後や同期項目を追加した直後などに、初めて行う同期では、「削除する」に設定している場合でも、アイテムを削除しません。

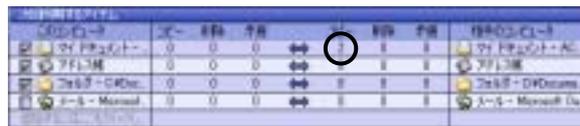
これは、前回同期した情報がないため、ACCUSYNCがアイテムを削除してよいのか判断ができないからです。

下図のように、「このコンピュータ」でアイテム[A]を削除したあとで、同期の方向を「こちらから」または「双方向」、「削除する」に設定し同期を実行すると、通常は「相手のコンピュータ」のアイテム[A]が削除されますが、初回に限り、アイテム[A]はコピーされます。



初めて行う同期で削除したいアイテムがある場合は、次の手順で操作してください。

- 1 チェックをします。(「4-5 1 チェックする(P51)」参照)
- 2 「次回同期するアイテム」ウィンドウで削除する予定のアイテムの「コピー」の数字をクリックします。



- 3 「コピーするアイテム」ウィンドウで「削除の同期」に変更します。(「4-5 2 チェック結果アイテムごとの設定変更(P52)」参照)
- 4 同期を実行します。(「4-6 同期を実行する(P54)」参照)

第5章

システムの設定

本章では、ACCUSYNCをご利用いただくための各種設定機能を説明します。

5-1 「オプション」ウインドウの表示

各種設定機能は「メインボタン」ウインドウの[オプション]ボタンをクリックします。

「オプション」ウインドウが表示されます。

それぞれのタブで各種設定を行うことができます。

本章ではタブごとに設定内容を説明します。



5-2 [接続方法]タブ

[接続方法]タブでは次のような設定を行います。

- シリアル接続の追加
RS-232C リバースケープル接続(シリアル接続)でACCUSYNCをご利用の場合などに、シリアル接続を追加します。
- TCP/IP接続(アドレス指定)の追加
ADSLやダイヤルアップなどからインターネット経由でACCUSYNCをご利用になる場合などに、TCP/IP接続(アドレス指定)を追加します。

注意

以下の状態でないとTCP/IP接続(アドレス指定)はご利用になれません。

- ・両方のコンピュータが起動していること
(スタンバイ状態ではご利用になれません。)
 - ・接続させる2台のコンピュータがADSL、CATV、FTTH、ホットスポット、ダイヤルアップなどでインターネットに接続している状態であること
 - ・両方のコンピュータでACCUSYNCが起動していること
-

1 シリアル接続の追加

RS-232Cリバーケーブルなどを使い、COMポート経由で2台のパソコンを接続する場合などは以下の設定を追加してください。

- 1 「オプション」ウインドウの[接続方法]タブを表示して、[追加]ボタンをクリックします。
「接続方法の追加ウィザード」ウインドウが表示されます。



- 2 「接続方法の追加ウィザード」ウインドウで[シリアル接続]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



第5章 システムの設定（「オプション」機能）

- 3** リストからご利用のポートを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



- 4** [完了]ボタンをクリックします。



2 TCP/IP接続(アドレス指定)の追加

ADSLやダイヤルアップなどからインターネット経由で外部のネットワークのコンピュータに接続する場合は、次の設定を追加してください。

- 1 オプションウィンドウの[接続方法]タブを表示して、[追加]ボタンをクリックします。
「接続方法の追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。



- 2 「TCP/IP接続(アドレス指定)」を選択します。



第5章 システムの設定（「オプション」機能）

- 3** 『相手のコンピュータ』のグローバルIPアドレスを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

グローバルIPアドレスの確認方法は「グローバルIPアドレスの確認方法（P64）」をご参照ください。



- 4** [完了]ボタンを押してください。



注意

- TCPポートおよびUDPポートは[オプション]→[接続方法]→[高度な設定]で変更できます。ファイアウォールを利用している場合などは必要に応じて変更してください。

なお、インターネット経由で接続を行う場合は、UDPポートは使用しません。

- ダイヤルアップ接続を行う場合は、「常時接続をする」のチェックを外してください。「常時接続をする」のチェックを外すと、「接続していません」というメッセージに変わり、[同期]、[チェック]ボタンなどを押した場合にのみ『相手のコンピュータ』に接続し、同期を行うようになります。

グローバルIPアドレスの確認方法

インターネットやLANに接続されている全てのコンピュータには、「IPアドレス」という番号が割り当てられています。

「IPアドレス」には、「グローバルIPアドレス」と「プライベートIPアドレス」の2種類があります。

「グローバルIPアドレス」は、各種モデムなどから直接インターネットに接続しているコンピュータに割り当てられるIPアドレスです。

「プライベートIPアドレス」は、会社内のLANに接続したり、ルータを経由してインターネットに接続しているコンピュータに割り当てられるIPアドレスです。

次のような場合は、プライベートIPアドレスが割り当てられている場合があります。

- 会社などのネットワーク(LAN)に属しているコンピュータ
- ブロードバンドルータ、ダイヤルアップルータなどのルータを導入している場合
- ルータタイプのADSLモデムを利用している場合
- CATV(ケーブルテレビ)など一部のプロバイダ

グローバルIPアドレスかどうかの確認方法

お使いのコンピュータが、「グローバルIPアドレス」が割り当てられているコンピュータかどうかは、次の手順で確認してください。

- 1 ACCUSYNCを起動しているコンピュータのIPアドレスを調べます。
Windowsのバージョンによって操作が異なりますので、ご注意ください。

Windows98 / Me の場合

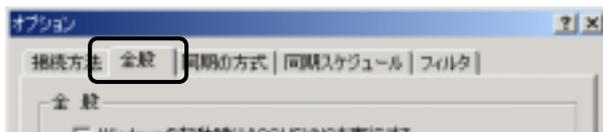
- 1 [スタート] [ファイル名を指定して実行]の順に選択します。
- 2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- 3 「IP設定」ウインドウ内の「Ethernet アダプタ情報」の「PPP Adapter.」をお使いのネットワークカードの名前に変更します。
- 4 表示された「IPアドレス」を確認する。

Windows2000 / XPの場合

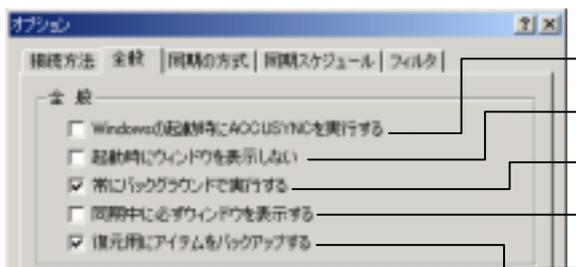
- 1 [スタート] [プログラム] [アクセサリ] [コマンドプロンプト]の順に選択します。
 - 2 キーボードから「ipconfig」と入力して[Enter]キーを押してください。
 - 3 表示された「Ethernet Adapter <ご利用の接続方法 (例.ローカルエリア接続)>の「IPアドレス」を確認してください。
- 2** プライベートIPアドレスの範囲内にIPアドレスがないかを確認します。
(以下の範囲に含まれている場合は「プライベートIPアドレス」です。)
- 「10.x.x.x」「172.16.x.x ~ 172.31.x.x」「192.168.x.x」
例) 10.3.79.2、172.16.1.20、192.168.11.21など
- 「169.254.x.x」の場合は、正しくネットワークの設定ができていない可能性があります。

5-3 [全般]タブ

[全般]タブでは、ACCUSYNCの動作状態などを設定します。
それぞれクリックして、チェックのON/OFFを切り替えてください。



1 全般



Windows の起動時にACCUSYNCを実行する

- (ON) : Windows 起動時にACCUSYNCを起動して、同期を実行します。
- (OFF) : Windows 起動時にACCUSYNCを起動しません。

起動時にウインドウを表示しない

- (ON) : ACCUSYNCを起動したときに、ACCUSYNCウインドウを表示しません。(タスクバーに入っています。)
- (OFF) : ACCUSYNCを起動したときに、ACCUSYNCのウインドウを表示します。

常にバックグラウンドで実行する

- (ON) : 同期実行時には必ずACCUSYNCウインドウを表示します。
- (OFF) : 設定によって、ACCUSYNCウインドウを表示しないときがあります。

同期中に必ずウィンドウを表示する

- (ON) : [閉じる]ボタンをクリックしても終了せず、タスクバーに常駐します。
- (OFF) : [閉じる]ボタンをクリックすると、ACCUSYNCが終了します。

復元用にアイテムをバックアップする

- (ON) : 復元用にバックアップファイルを作成します。
- (OFF) : 復元用にバックアップファイルを作成しません。
(復元機能が無効になりますが、コンピュータの負担が軽くなり、処理が早くなります。一時的に設定することで効率よく処理することができます。)

2 コンパクトモード

コンパクトモードに関する設定を行います。

コンパクトモードについては「5-7 コンパクトモード(P77)」をご参照ください。



コンパクトモードで表示する

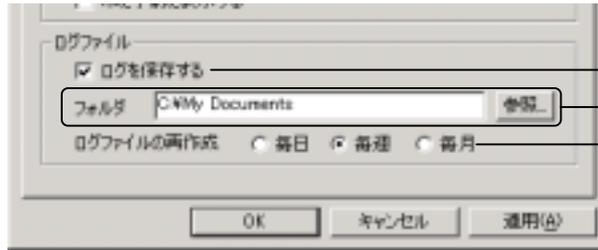
- (ON) : コンパクトモードのときはどのウインドウよりも前に表示します。
- (OFF) : 他のウインドウと同じです。

常に手前に表示する

- (ON) : コンパクトモードで表示します。
- (OFF) : 通常のACCUSYNCウインドウ(フルモード)で表示します。

3 ログとログファイル

ACCUSYNCで行った同期の記録はログとして記録されています。
ログ(動作記録)についての設定を行います。



ログファイルを保存する

- (ON) : ログをファイルに保存します。
- (OFF) : ログをファイルに保存しません。

フォルダ

ログファイルの保存先を指定します。
(ログファイルに保存する設定のときのみ有効)
[参照]ボタンをクリックしてフォルダを変更することができます。

ログファイルの再作成

新しいログファイルを作成するタイミングを設定します。

Memo

ログファイルの内容は「メインボタン」ウィンドウの[ログ]ボタンをクリックし、
ファイル単位に参照できます。

5-4 [同期の方式]タブ

同期の方向と削除の同期に関する設定を行います。

ここでの設定内容はACCUSYNCウインドウのボタンでの操作と同じです。

詳しくは「4-4 同期の設定 (P48)」を参照してください。



5-5 [同期スケジュール]タブ

同期を行うタイミングなどを設定します。

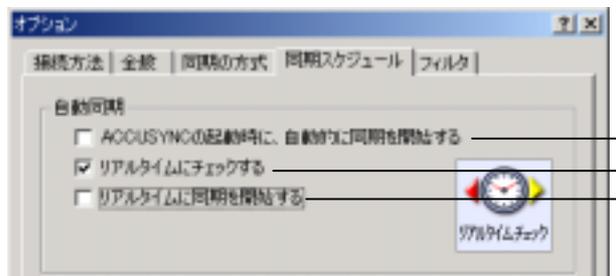


1 自動同期

それぞれクリックして ON / OFF を切り替えて設定します。

Memo

同様の設定は「接続方法と同期の設定」ウィンドウのボタンでも行えます。



ACCUSYNCの起動時に、自動的に同期を開始する

- (ON) : ACCUSYNCを起動するとそのタイミングで同期を行います。
- (OFF) : ACCUSYNC起動時には同期は行いません。

リアルタイムにチェックする

- (ON) : 常時チェックを行います。
- (OFF) : 常時チェックを行いません。

リアルタイムに同期を開始する(常時チェックを行う設定のときのみ有効)

- (ON) : 常時同期を行います。
- (OFF) : 常時チェックのみで、同期は行いません。

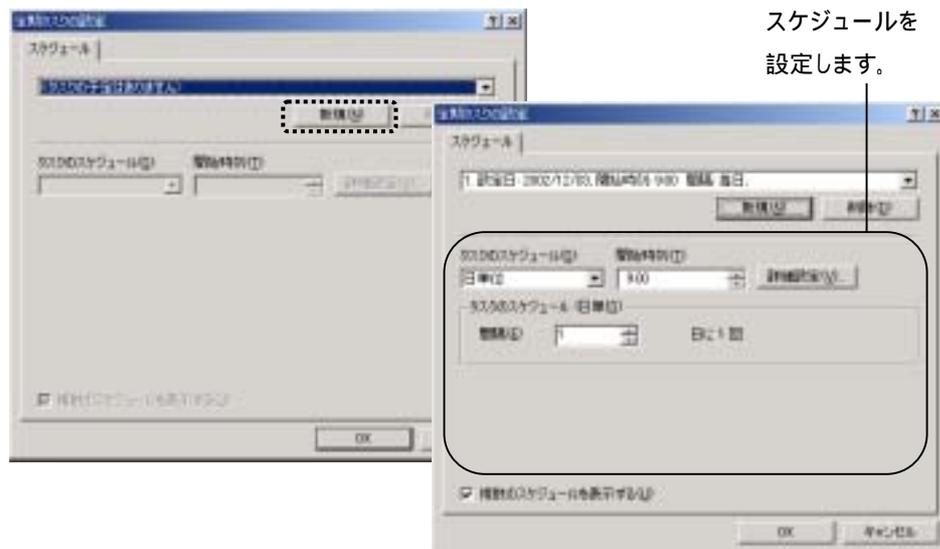
2 定期的な同期スケジュール

毎週月曜日、毎日午後3時など、定期的な同期を行うためのスケジュールを登録します。

- 1 [定期タスクの設定]ボタンをクリックします。
「定期タスクの設定」ウインドウが表示されます。



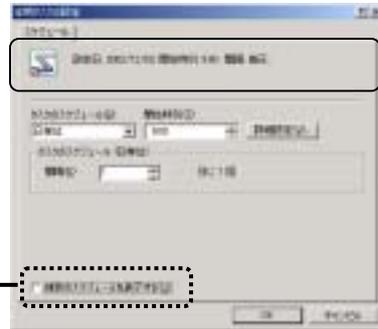
- 2 新しいスケジュールを作成するときは、[新規]ボタンをクリックし、スケジュールを設定します。



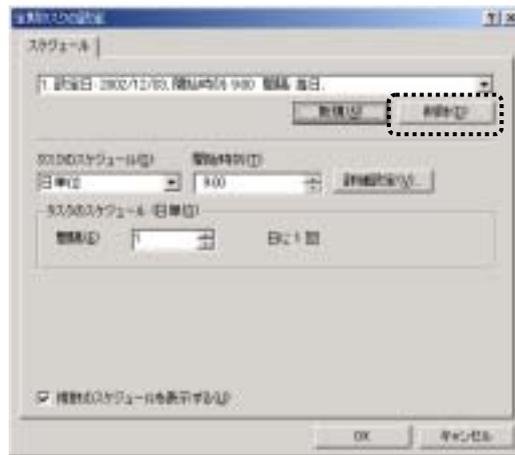
Memo

スケジュールが1件のみの場合は
表示を切り替えられます。

クリックしてチェックの
ON / OFF で表示を切り
替えられます。

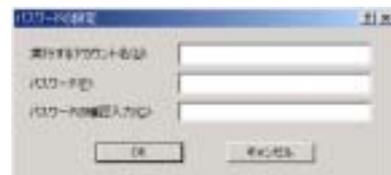


- 3** スケジュールを削除するときは、「」ボタンをクリックし削除したいスケジュールを表示して、[削除]ボタンをクリックします。

**Memo**

お使いのパソコンの環境により、次のようなウィンドウが表示される場合があります。

お使いの環境のアカウントとパスワード
をそれぞれ入力し、[OK]ボタンをクリック
してください。



5-6 [フィルタ]タブ

同期の対象とするアイテムの条件を追加します。



フィルタ機能を使用しないときは
 (OFF) にします。

フィルタ機能を利用できる同期項目が、一覧で表示されます。

フィルタの設定操作は次のとおりです。

- 1 「フィルタ機能を使用する」が (ON) になっていることを確認してから、フィルタを設定したい同期項目を選択し、[設定]ボタンをクリックします。「同期項目のプロパティ」ウインドウが表示されます。

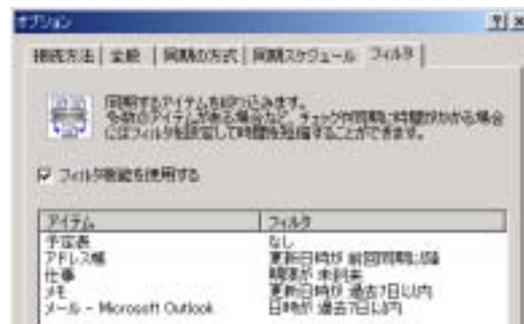


フィルタを設定したい同期項目を選択します。

- 2 フィルタを設定して [OK]ボタンをクリックします。
 (下図は「仕事」のフィルタ画面です。同期項目により設定できるフィルタが異なり、「同期項目のプロパティ」ウインドウの内容も異なります。)



「同期項目のプロパティ」ウインドウが閉じて、設定したフィルタが表示されます。



Memo

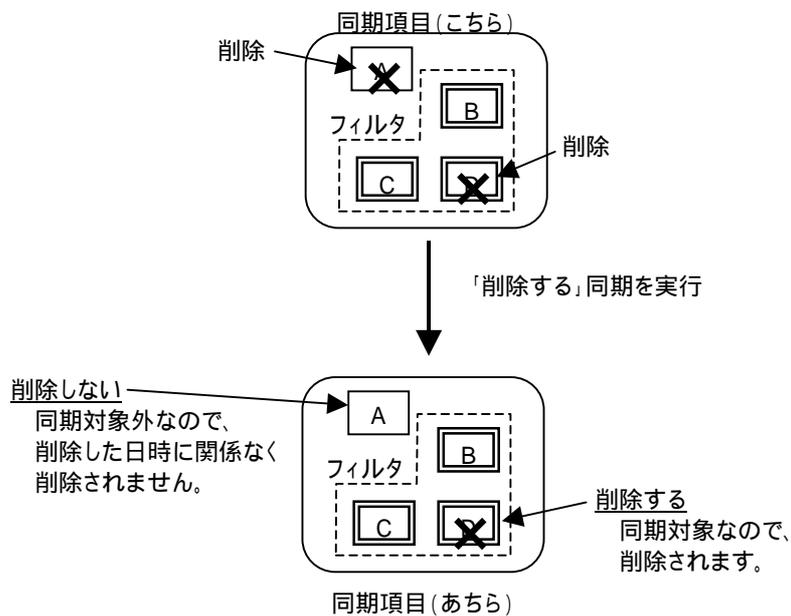
フィルタを解除したいときは、「同期項目のプロパティ」ウインドウで[すべてのアイテムを同期する]を選択してください。

第5章 システムの設定（「オプション」機能）

Memo Outlookアイテムのフィルタ設定時の削除の動きについて
フィルタは、同期の対象にしたいアイテムの作成または更新日時を限定するための条件です。

そのため、アイテムを削除した場合、削除した日ではなく、アイテムを作成または更新した日付によって、削除する／しないを判断します。

下図は、「こちら」から「あちら」へ、「削除する」同期を実行したときの例です。



5-7 コンパクトモード

ACCUSYNCはコンパクトモードで表示することができます。コンパクトモードでの操作はそれぞれ次の図のとおりです。



5-8 オンラインアップデート

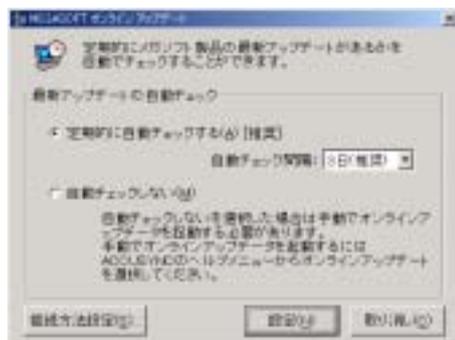
ACCUSYNCには、プログラムの機能追加や問題解消のためのオンラインアップデート(インターネットを利用したプログラム自動更新)機能が搭載されています。

ACCUSYNCを最良の状態でご利用いただくために、ぜひご活用ください。

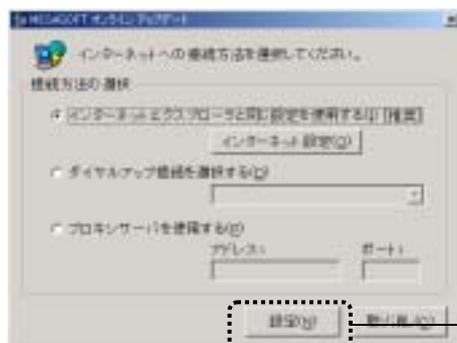
1 オンラインアップデートの設定

オンラインアップデートの設定は、ACCUSYNCのインストール時に設定済みです。設定内容を変更したいときに以下の操作を行ってください。

- 1 メニューバーの[ヘルプ] [オンラインアップデート設定]の順に選択します。
- 2 「MEGASOFTオンラインアップデート」ウインドウで、「定期的に自動チェックする[推奨]」を選択し、自動チェックの間隔をリストから選択してください。または、「自動チェックしない」を選択してください。



- 3** 必要があれば、「接続方法設定」ボタンをクリックして、接続の方法を設定してください。



設定ができれば、クリックして元の画面に戻ります。

- 4** 「MEGASOFT オンラインアップデート」ウインドウで、「設定」ボタンをクリックします。

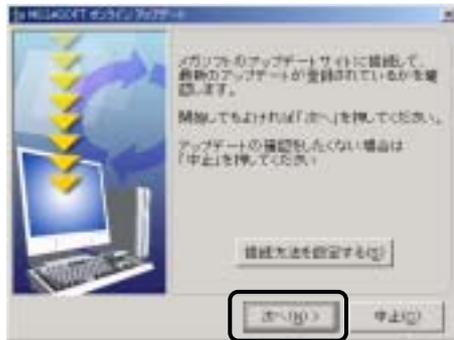


2 オンラインアップデートの操作

- 1 「MEGASOFTオンラインアップデート」の設定で、「定期的に自動チェックする」を設定した場合は、該当する日にACCUSYNCを起動すると自動的にオンラインアップデートが実行されます。

「自動チェックしない」を設定した場合は、ACCUSYNCのメニューバーの[ヘルプ] [オンラインアップデート]の順に選択することで、オンラインアップデートが実行されます。

次の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



- 2 各画面で画面の説明にそってアップデートを進めてください。最後の画面では[閉じる]ボタンをクリックしてください。



ファイル名とサイズは、この限りではありません。

5-8 オンラインアップデート



第5章 システムの設定（「オプション」機能）

Memo:



付 録

索 引

I	
IEEE1394(iLink)ケーブル接続	14
IPアドレス	18
IPアドレスの手動設定	18
L	
LANクロスケーブル	15
LANクロスケーブル接続	15
R	
RS-232Cリバースケーブル接続	15
T	
TCP/IP接続(アドレス指定)の追加	61
U	
USBリンクケーブル接続	13
あ	
相手のコンピュータ	1
アイテム	35
アカウント	73
あちらから	49
アンインストール	9
い	
一時的に同期項目からはずす/もどす ..	53
インターネット接続	16
う	
ウインドウ操作ボタン	35
お	
「オプション」ウインドウ	57
オンラインアップデート	6,78
き	
起動	25
く	
グローバルIPアドレスの確認	64
こ	
高度な設定	63
項目	35
[項目を追加]ボタン	36
こちらから	49
このコンピュータ	1
コピー	51
コンパクトモード	68, 77
コンパクトモードボタン	35
さ	
削除	51
削除しない	48
削除する	48
削除の設定	48
[削除の同期]ボタン	48
サブネットマスク	18
し	
「次回同期するアイテム」ウインドウ ..	35
「次回同期するアイテム」 ウインドウのサイズ変更	46

付 録

実行	54	同期の実行	54
自動同期	71	同期の中止	54
終了	33	同期の方向	31, 49
常時接続をする	63	[同期の方向]ボタン	49
シリアル接続の追加	59	同期の方式	70
す		動作環境	2
スケジュール	71	に	
「ステータス」ウインドウ	35	認証	26
せ		ふ	
接続設定	12, 21	フィルタ	74
「接続方法と同期の設定」ウインドウ	35	復元	55
設定ウィザード	26	フルモード	68
セットアップ	4	ま	
[全般]タブ	66	マイドキュメントフォルダ	37
そ		む	
双方向	49	矛盾	51
た		め	
タイトルバー	33, 35	「メインボタン」ウインドウ	35
ち		メニューバー	35
チェック	51	ゆ	
チェック結果アイテムごとの設定	52	ユーザー登録	85
中止	54	有線・無線LAN接続	12
て		ろ	
定期的な同期	72	ログ	69
と		「ログ」ウインドウ	35
同期項目	30, 36	ログファイル	69
同期項目の削除	47		
同期項目の追加	36		
同期スケジュール	71		
同期する	35		

ACCUSYNC ユーザーズマニュアル

2002年12月24日 初版発行
2004年4月1日 第2版発行

製作:メガソフト株式会社

発行者:メガソフト株式会社

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

TEL:06-6386-6046 FAX:06-6386-9983

著作権:Copyright© 2002-2004 MEGASOFT Inc.

本製品のプログラムおよびマニュアルの転写、転載を禁止します。

本製品の内容は、予告なしに変更することがあります。

ACCUSYNC、アキュシンクはメガソフト株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNTはMicrosoft Corporationの登録商標です。